土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　二級河川　三津大川水系　三津大川　災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　二級河川　三津大川水系　三津大川

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	No.1	**調査位置**	広島県東広島市安芸津町三津			**北緯**	34° 19′ 11.2660″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2021年 7月 28日 ～ 2021年 8月 4日	**東経**	132° 48′ 59.2495″
調査業者名	株式会社セトウチ **電話** 0846-29-1720	**主任技師**	藤原　泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号	**現場代理人**	新長　修二 地質調査技士 登録番号:	**コア鑑定者**	藤原　泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号
ボーリング責任者	森下　祐次 地質調査技士 登録番号: 第23888号						
孔口標高	T.P. 4.96m	**角度**	180°　上 90° 下 0°　0°	**方位**	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	**地盤勾配**	水平0°　鉛直 90°
使用機種	**試錐機**	YBM YSO-1WA					
総削孔長	15.00m	**エンジン**	ヤンマーNFD10	**ポンプ**	GP-5		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地層名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3	1.96	3.00		埋土		暗灰～黄褐灰	緩い～中位ぐい			深度0.4m付近まで砕石。 深度1.2m付近にt=0.2m程度のCo板。Co板下部は砕石～礫・玉石混り土砂。 Asガラ混入する。 ボーリング地点は、深度2.55mまで空洞(VP管保孔)。 深度2.55m以深～Φ40mm程度までの礫を混じる礫混り土砂。 部分的にΦ60mm～100mm程度の捨て石挟む。	07/31 2.55
4 5	-0.04	5.00		砂礫		灰褐	緩い～中位ぐい			Φ10mm～30mm程度の亜角礫、亜円礫を多く挟み部分的にΦ60mm程度の礫を混じる。最大礫径Φ150mm程度。 マトリックスは中～細粒砂。 深度5.00mまで掘削時、全逸水する。	08/02 3.60
6 7 8 9 10 11	-6.54	11.50		玉石混り砂礫		灰褐～暗青灰	密～非常に密な			Φ80mm～120mm程度の玉石が80%程度を占め玉石間を粗砂が埋める。 逸水、復水の繰り返しで7.40m以深、全逸水。 採取コア最大長20cm程度（玉石）。 玉石は非常に硬質な流紋岩主体。花崗斑岩が僅かに混入する。	
12 13 14	-10.04	15.00		砂岩・礫岩		淡青灰～青灰				L=4～25cmの柱状コア主体。 コア肌は粗く、ハンマーの軽打で濁音を発する。 深度14.40mより、含有礫径が大きくなり、岩片～短棒状コア主体。 含有礫は硬質な流紋岩で、ハンマーの軽打で金属音を発する。 深度13.00m以深より、全逸水。	

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	3.15	3	1	2	6/300		
18	3.45 / 4.15	10	4	4	18/300		
52	4.45 / 5.15	10	16	24/90	50/290	290	
56	5.44 / 6.15	10	9	31/70	50/270	270	
68	6.42 / 7.00	22	22	6/20	50/220	220	
58	7.22 / 8.15	17	12	21/60	50/260	260	
54	8.41 / 9.15	17	19	14/80	50/280	280	
56	9.43 / 10.15	8	8	34/70	50/270	270	
41	10.42 / 11.15	9	14	18	41/300		
	11.45 / 12.00	貫入不能			50/0		
150	12.00 / 13.00	50			50/100	100	
188	13.10 / 14.00	50/80			50/80	80	
	14.08 / 15.00	貫入不能			50/0		
	15.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
					7/30
					7/31
					8/2
					8/3